

関する統計表しか示さなかったが、国別にみると、現在（1974年央時点）世界で最大の人口を持つ国は中国で、推定8億2,496万、これに次いでインドが5億8,606万、ソビエト連邦2億5,206万、アメリカ合衆国2億1,191万、インドネシア1億2,759万、日本1億967万、ブラジル1億424万の順で、日本は第6番目に位置している。それに続く人口5,000万を超える国を列記すると、バングラデシュ7,499万、パキスタン6,821万、ドイツ連邦共和国6,204万、ナイジェリア6,127万、イギリス5,597万、イタリア5,536万、メキシコ5,812万、フランス5,213万である。

人口1,000万以上の諸国のなかで人口密度の高い国は、バングラデシュの1平方キロ当たり521人を筆頭に、韓国の340、オランダ332、日本295、ドイツ連邦共和国250、イギリス229、スリランカ208等であるが、人口がわずかに1,000万に足りないベルギーの密度は320であり、これを含めると日本は世界で第5番目になる。しかし、各国の面積のなかには、山地や砂漠や氷結地などのように人間の居住が困難な地域が含まれているので、より現実的な居住可能な地域当たりの平均人口をもって比較してみると、日本は世界で最も人口稠密な国であると推察される。

なお、ここに示した統計表における世界の主要地方・地域の構成については、56ページに示してある。

（金子武治記）

## 世界の将来推計人口（1973年推計）

国際連合は、前回の1968年推計を含めてこれまで5回の将来推計人口を発表してきたが<sup>3)</sup>、1974年8月ブカレストで開催された世界人口会議に新しい将来推計人口を提出し<sup>4)</sup>、その後4つのWorking Paper（以下WPと略称）を公表している<sup>5)</sup>。そこで、主要な地域について総人口、人口増加率、年齢3区分別構成など若干の数値を55ページに示すとともに、1973年推計の推計方法などの概要を紹介するものである。

この1973年推計は、国際連合の第2次開発10年計画の評価に必要な最新の資料を提供する目的でおこなわれたものである。したがって1968年推計に基づく、都市・農村別人口、経済活動人口、農業・非農業人口、就学人口および世帯と家族など、国際連合とILO、FAOおよびUNESCO等の諸機関とによって発表されている上記の推計の改訂も計画の中に含まれている<sup>4)</sup>。

1973年推計は、1970年を基準年次とし、1970年から2000年までの間について5年ごとに8つの主要地方、24の地域と200以上の国や地区についておこなわれた。その推計内容は次のとおりである。

- a) 男女年齢（5歳階級）別に5年ごとに推計されている。ただし、人口規模が25万以下の国または地区では総人口のみ推計されている。（WP.60に中間推計値のみ記載）
- b) 5歳から24歳までの年齢については、5歳階級と同様に、各歳に推計がおこなわれた。ただし、人口規模の小さい国は除かれている。
- c) 総人口については、毎年の数値がすべての国や地区について補間推計されている。（WP.56）
- d) 推計は4つの推計値からなっている。それは「高」、「中間」、「低」および「出生率一定」の4つで、世界、開発地域、低開発地域、8つの主要地方、24の地域と国や地区についておこなわれている。（WP.53）
- e) 男女年齢別構成に基づく、従属人口指数、平均年齢などの主要な人口学的指標は、人口規模の小さな国以外の、すべての国について示されている。（WP.55）

また、1970年の男女年齢別人口を1968年推計以降に明らかにされた資料によって推定し直した。したがって、1950年から1970年までの5年ごとの地域および国の男女年齢別人口も修正（再推定）されている。

1973年推計では推計方法上いくつかの新機軸がみられ、その1つは出生率および死亡率の将来推移モデルを広範囲に適用したことである。これらは、別な印刷物で詳細に論じられることが予告されている<sup>6)</sup>。

なお、地域や国の英文表記と地域区分がこれまでのものと若干変更があるので注意が必要である。実質的変更は次のとおりである。

- a) パラグアイは、温帯アメリカから熱帯アメリカに所属地域が変わった。
- b) 東アジアは、これまで「中国本土(中国、ホンコン、マカオおよびモンゴル)」、「日本」および「その他の東アジア(南北朝鮮、沖縄)」であったが、ここでは「中国」、「日本」および「その他の東アジア(ホンコン、南北朝鮮、マカオおよびモンゴル)」となっている。
- c) その他、地域・国の順序が a b c 順となったことと、南アジアとオセアニアで英文表記が若干変更になった。

ただし、開発地域、低開発地域および8つの主要地方と24地域の地域区分は、上記の変更にもなうものを除いて、変更がない。

#### 出生、死亡および移動についての仮定

1973年推計は、これまでと同様“コーホート要因法 Cohort-Component Method”でおこなわれた。仮定値は国ごとの事情に応じて設定された。また“出生率一定”とは1970年の出生率水準を一定としたもので、他の三つの推計値の出生率、死亡率および移動の仮定値が人口にどのような影響を与えるのかの測定に用いることができよう。

**出生の仮定** 出生率の低下には、現在の出生率水準ばかりでなく、経済社会開発水準、地理的文化的な地域性、家族計画の動向についても考慮がはられ、以下のフレームによって仮定値が設定されている。

- a) 出生率水準は、長期的にみて単純再生産のレベルに向うものとする。
- b) 家族計画の動向は、出生率低下のテンポに関連させる。
- c) 出生率低下がはじまると、はずみがついてGRR(総再生産率)が2.5を下回ると1.5まで急速に低下する。
- d) 地域的に家族計画への反応に差がみられる。その結果出生率低下は早くなったり遅くなったりする。そこで、出生率低下のテンポについては文化的要因を考慮した。

1973年推計におけるもう1つの方法論的改革は、GRRと平均出産年齢および再生産年齢の幅が違った、9種類の地域モデル出生率表を作成し、資料精度の悪い低開発地域の出生率仮定に用いたことである。

**死亡の仮定** 開発途上国の死亡率の将来推移にあたっては、国際連合のモデル生命表とCoal-Demenyのモデル生命表が用いられた。将来の死亡率の改善は出生時の平均余命ののびで代表させている。また開発途上国の死亡の改善は急速に進むと仮定し、出生時の平均余命が55年にならない地域では5年間に2.5年ずつのびるように、55年を上回る地域では、男の場合、国際連合のモデル生命表の72.6年を最高とし、出生時の平均余命ののびはしだいに小さくなると、それぞれ仮定した。女の場合、Coal-Demenyのモデル生命表の77.5年を最高とし、5年間に2.5年未満ののびを示すものと仮定した。また、出生時の平均余命の男女差は、これまでの最高時で3.5年を、約5年の差とした。

**移動の仮定** 国際移動の仮定は、今世紀末にかけてしだいに減少するという前提のもとに立てられている。まず、国際移動統計がほとんど得られないアフリカと、移動が人口変動に与える影響がきわめて小さいアジアでは、国際移動は考慮されていない。つぎに、アメリカ合衆国への移入民は、5年間に200万と仮定した合衆国センサス局の仮定をそのまま採用した。また南ヨーロッパ、北アフリカとトルコから西ヨーロッパへの転入は今世紀末に向ってしだいに減少するものと仮定した。

#### 1970年基準人口の改訂

1970年年央の世界人口は、1968年推計では36億3,200万であったが1973年推計では36億1,000万と2,200万減少している。そのうち低開発地域の減少は1,800万である。こうした修正は世界総人口ではわずかな

のであるが、個々の国ではその影響は小さくない。たとえば、インドでは1,140万、パキスタンとバングラディッシュとで880万など南アジアで2,460万の減少、中国では1,800万の減少修正がなされた。

以上のような人口が減少するような修正は、次の三つの要因によるものである。まず、センサスの把握率の動向、次に開発途上地域の出生率低下が1968年推計の想定よりも低下したこと、3番目に低開発地域の死亡の改善が期待値よりも少なかったことによるとされている。また開発地域では、のヨーロッパや合衆国の出生率低下が急激であったことと、ヨーロッパの多くの国で男の死亡率の改善が進まなかったことが、開発地域における修正の差となった。

なお最後の WP. 60 で、東独、チェコ、韓国およびアフリカの11ヶ国<sup>6)</sup>について、それまでの WP で発表されている数値に若干の修正がなされている。表1は、WP. 60 で修正されたものを含んでいるが、その差はきわめて小さい。

#### 総人口と年齢構成の将来推移

世界人口は、1950年の25億から1975年に40億に増え、この間に15億(40%)の増加を示した。この間の年平均増加率は1.9%で、1973年推計の中間推計値によると、1985年まで1.9%台となり、2000年に62.5億に達すると推計されている。1970年から2000年までに、世界人口は24.6億増え、その9割は低開発地域内の増加で、低開発地域人口は25億から49億に94%増加する。開発地域人口は、この間に11億から14億に25%増加する。世界の3分の1の人口をもつ南アジアは、1970年の11億から2000年に22.7億と2倍以上に増える。東アジアの人口増加率はすでに世界水準より低く1970年で1.6%が、2000年に1%と推計され、総人口は9.3億から13.7億と48%増加する。人口増加率が高いラテンアメリカとアフリカは2.8億から6.7億、3.5億から8.1億とそれぞれ倍増する。

年齢構成は開発地域と低開発地域との差が大きい。1970年の年少(15歳未満)人口割合は開発地域の26.7%に対して低開発地域では40.5%である。年齢構成は1990年まで大きな変化がみられないが、1990年以降に出生率低下の影響が表われてくる。2000年では、低開発地域の年少人口割合は35.1%に低下し、生産年齢(15—64歳)人口割合は増える。開発地域の生産年齢人口は64.5%を前後するだけで、年少人口が22.6%に減少した部分はすべて老年人口割合の増加となる。(伊藤達也記)

- 1) "The Past and Future Growth of World Population—A Long-Range View" *Population Bulletin No. 1* (United Nations publication, Sales No.: 52. XIII. 2); "Framework for Future Population Estimates, 1950-1980, by World Regions", *Proceedings of the World Population Conference, 1954*, Vol. III (United Nations publication, Sales No.: 55. XIII. 8), pp. 283-328; *The Future Growth of World Population* (United Nations publication, Sales No.: 58. XIII. 2); *World Population Prospects as Assessed in 1963* (United Nations publication, Sales No.: 66. XIII. 2); *World Population Prospects as Assessed in 1968* (United Nations publication, Sales No.: 72. XIII. 4)
- 2) "World and Regional Population Prospects" *Prepared by the United Nations Secretariat (E/CONF. 60/CBP/15, April 1974)* この資料の数値(人口)は、WPよりも大きいので注意が必要。
- 3) "World and Population Prospects, 1970-2000, as Assessed in 1973" (United Nations Population Division Working paper, ESA/P/WP. 53, March 1975), "Selected World Demographic Indicators by Countries, 1950-2000" (United Nations Population Division Working Paper, ESA/P/WP. 55, May 1975), "Single-Year Population Estimates and Projections for Major Areas, Regions and Countries of the World, 1950-2000" (United Nations Population Division Working Paper, ESA/P/WP. 56, October 1975) および "Population by Sex and Age for Countries, 1950-2000, as Assessed in 1973: Medium Variant" (United Nations Population Division Working Paper, ESA/P/WP. 60, February 1976)
- 4) 脚注2)の資料に、8つの主要地域、24地域に関するそれらの将来推計値が記載されている。
- 5) "World Population Prospects as Assessed in 1973"
- 6) Kenya, Mozambique, Namibia, Ghana, Mauritania, Niger, Nigeria, Senegal, Sierra Leone, Togo および Upper Volta.

表1 世界の地域別将来推計人口および人口増加率：1970—2000（中間推計値）

主要地方 および地域	年 央 推 計 人 口 （単位 100万）							年 平 均 増 加 率（%）				
	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	1975 —80	1980 —85	1985 —90	1990 —95	1995 —2000
世界合計	3,610	3,968	4,374	4,817	5,280	5,763	6,254	1.95	1.93	1.84	1.75	1.64
開発地域*	1,084	1,132	1,181	1,231	1,277	1,320	1,360	0.85	0.82	0.74	0.65	0.60
低開発地域	2,526	2,836	3,193	3,586	4,003	4,443	4,894	2.37	2.32	2.20	2.09	1.94
アフリカ	352	401	461	532	614	708	814	2.77	2.86	2.88	2.86	2.77
北部アメリカ	226	237	249	262	275	286	296	0.99	1.06	0.95	0.79	0.69
ラテンアメリカ	283	324	372	426	486	551	620	2.74	2.71	2.64	2.51	2.37
東アジア	927	1,006	1,088	1,165	1,233	1,302	1,370	1.56	1.37	1.15	1.08	1.02
南アジア	1,101	1,250	1,427	1,625	1,836	2,054	2,267	2.65	2.60	2.45	2.24	1.98
ヨーロッパ	459	473	487	500	514	527	540	0.56	0.54	0.54	0.51	0.48
オセアニア	19.3	21.3	23.5	25.8	28.1	30.4	32.7	1.94	1.86	1.73	1.59	1.45
ソビエト連邦	243	255	268	282	294	305	315	1.00	0.98	0.85	0.73	0.67

\* 開発地域 (More developed regions) とは、ヨーロッパ、北部アメリカ、オーストラリアとニュージーランド、日本、ソビエト連邦および温帯南アメリカを意味する。したがって低開発地域 (Less developed regions) とは、それ以外の地域である。56ページの地域構成表、参照。

表2 地域別人口の年齢（3区分）別割合および出生率と死亡率（中間推計値）

主要地方 および地域	人 口 割 合 （単位 %）									1995—2000年	
	1980年			1990年			2000年			(%/100)	
	0—14 歳	15—64 歳	65歳 以上	0—14 歳	15—64 歳	65歳 以上	0—14 歳	15—64 歳	65歳 以上	出生率	死亡率
世界合計	35.6	58.6	5.8	34.8	59.3	5.9	32.4	61.3	6.3	25.1	8.9
開発地域	23.9	65.0	11.1	23.8	64.9	11.3	22.6	65.0	12.4	15.6	9.9
低開発地域	39.8	56.2	3.9	38.3	57.6	4.2	35.1	60.2	4.7	27.8	8.6
アフリカ	44.1	52.9	2.9	44.4	52.5	3.1	43.0	53.7	3.3	39.1	11.4
北部アメリカ	23.8	65.6	10.5	24.6	64.3	11.1	22.7	66.4	10.8	15.1	9.8
ラテンアメリカ	41.4	54.7	4.0	40.0	55.8	4.2	37.5	58.0	4.5	29.6	5.7
東アジア	31.8	62.1	6.1	28.4	64.8	6.8	25.1	67.1	7.8	18.1	7.9
南アジア	42.7	54.3	3.0	41.0	55.7	3.3	36.5	59.5	3.9	28.4	8.9
ヨーロッパ	23.0	64.2	12.9	22.4	64.9	12.6	22.1	64.4	13.5	15.3	10.4
オセアニア	31.1	61.2	7.7	31.2	60.8	8.0	29.2	62.9	7.9	21.2	8.0
ソビエト連邦	24.3	65.6	10.1	24.9	65.0	10.0	23.6	64.2	12.2	16.3	9.6

〔参考〕 世界人口年鑑（1974年版）に示されている主要地方ならびにその構成地域表

【アフリカ】

西部アフリカ

ベルデ岬諸島  
ダホメ  
ガンビア  
ガーナ  
ギニア  
ギニア-ビサウ  
コートジボアール  
リベリア  
マリ  
モーリタニア  
ニジェール  
ナイジェリア  
セントヘレナ  
セネガル  
シエラレオネ  
トーゴ  
オートボルタ

東部アフリカ

イギリス印度洋領土  
ブルンジ  
コモロ諸島  
エチオピア  
仏領アファール=イッサ  
ケニア  
マダガスカル  
マラウイ  
モーリシャス  
モザンビーク  
レユニオン  
ルワンダ  
セイシェル  
ソマリア  
南部ローデシア  
ウガンダ  
タンザニア連合共和国  
ザンビア

北部アフリカ

アルジェリア  
エジプト  
リビアアラブ共和国  
モロッコ  
スペイン領サハラ  
スーダン  
チュニジア

中央アフリカ

アンゴラ(カビンダを含む)  
中央アフリカ共和国  
チャド  
コンゴ  
赤道ギニア  
ガボン  
サントメ=プリンシペ  
カメルーン連合共和国  
ザイール

南部アフリカ

ボツワナ  
仏領南部=南極地域  
レソト  
ナミビア  
南アフリカ  
スワジランド

【北部アメリカ】

バーミューダ  
カナダ  
グリーンランド  
サンピエール=ミクロン  
合衆国(ハワイを含む)

【ラテンアメリカ】

熱帯南アメリカ

ボリビア  
ブラジル  
コロンビア  
エクアドル  
仏領ギアナ  
ガイアナ  
パラグアイ  
ペルー  
スリナム  
ベネズエラ

中央アメリカ(本土)

ベリゼ  
運河地帯(パナマ)  
コスタリカ  
エルサルバドル  
グアテマラ  
ホンジュラス  
メキシコ  
ニカラグア  
パナマ

温帯南アメリカ

アルゼンチン  
イギリス南極領土  
チリ  
フォークランド諸島  
(マルビナス)  
ウルグアイ

カリブ海

アンチグア  
バハマ諸島  
バルバドス  
英領バージン諸島  
カイマン諸島  
キューバ  
ドミニカ  
ドミニカ共和国  
グレナダ  
グアドループ  
ハイチ  
ジャマイカ  
マルチニーク  
モンツェラット  
オランダ領アンチル  
プエルトリコ  
セントキッツ-  
ネビス=アンギュラ  
セントルシア  
セントビンセント  
トリニダード=トバゴ  
タークス=カイコス諸島  
米領バージン諸島

【東アジア】

日本  
中国

その他の東アジア

ホンコン  
朝鮮  
朝鮮民主主義人民共和国  
韓国  
マカオ  
モンゴル

【南アジア】

中央南アジア

アフガニスタン  
バングラデシュ  
ブータン  
インド  
イラン  
マルジブ  
ネパール  
パキスタン  
シッキム  
スリランカ

東部南アジア

ブルネイ  
ビルマ  
インドネシア  
クメール共和国(カンボジア)  
ラオス  
マレーシア  
フィリピン  
ポルトガル領チモール  
シンガポール  
タイ  
ベトナム  
ベトナム民主共和国  
ベトナム共和国

西部南アジア

バーレーン  
キプロス  
ガザ地帯(パレスチナ)  
イラク  
イスラエル  
ヨルダン  
クウェート  
レバノン  
オーマン  
カタール  
サウジアラビア  
シリアアラブ共和国  
トルコ  
アラブ首長国連合  
イエメン  
イエメン民主国

【ヨーロッパ】

西部ヨーロッパ

オーストリア  
ベルギー  
フランス  
ドイツ連邦共和国  
リヒテンシュタイン  
ルクセンブルク  
モナコ  
オランダ  
スイス

南部ヨーロッパ

アルバニア

アンドラ  
ジブラルタル  
ギリシア  
ホリーシー  
イタリア  
マルタ  
ポルトガル  
サンマリノ  
スペイン  
ユーゴスラビア

東部ヨーロッパ

ブルガリア  
チェコスロバキア  
ドイツ民主主義共和国  
ハンガリー  
ポーランド  
ルーマニア

北部ヨーロッパ

チャネル諸島  
デンマーク  
フェロー諸島  
フィランド  
アイスランド  
アイルランド  
マン島  
ノルウェー  
スウェーデン  
連合王国

【オセアニア】

オーストラリアおよび  
ニュージーランド  
オーストラリア  
ニュージーランド

メラネシア

英領ソロモン諸島  
ニューカレドニア  
ニューヘブリデス  
ノーフォーク島  
パプアニューギニア

ミクロネシア=ポリネシア

ポリネシア

アメリカ領サモア  
クック諸島  
フィジー  
フランス領ポリネシア  
トンガ  
ワリス=フツナ諸島  
西部サモア

ミクロネシア

カントン=エンダー  
バリー諸島

クリスマス島

ココス(キーリング)諸島

ギルバート=エリス諸島

グアム

ジョンストン島

ミッドウェー島

ナウル

ニウエ島

太平洋諸島

ピットケアン島

トケラウ諸島

ウェーク島

【ソビエト

社会主義共和国連邦】